

令和8年1月21日(水)



湊中だより

学校教育目標 3つの心「自主」「敬愛」「健康」
～志を持ち、心身ともにたくましく生きる生徒の育成を図る～

文責 教頭

三学期 始業式

1月8日(木)

式辞より抜粋

大きな事故やけがもなく、こうして皆さんと再会できたことを心からうれしく思います。昨年末の青森県東方沖の地震、そして新年早々の鳥取・島根での大きな地震と、心痛むニュースが続いている。能登半島地震からちょうど2年が経ちますが、復興への道のりはまだ半ばです。私たちが今、こうして当たり前のように学校に通えること。それは決して当たり前ではなく、多くの人の支えと、この湊地区を想う人々の熱意があってのことです。今ある日常への感謝を忘れず、一日一日を、そして自分の命と周りの命を大切に過ごしていきましょう。

さて、三学期の登校日は、三年生が39日、一・二年生が50日です。この期間は「まとめ」とあると同時に、四月からの新しいステージに向けた「準備」の期間でもあります。陸上競技に例えるなら、高く、遠くへ跳ぶための「助走」の期間です。高く飛びたいと思えば思うほど、力強い助走が必要になります。皆さんにとっての「良い助走」とは何でしょうか。それは、学習、スポーツ、芸術、あるいは誰かのために動くことなど、自分が決めた目標に一生懸命に向かうことです。特に三年生の皆さん。進路という大きな壁を前に不安もあるでしょう。しかし、これは避けては通れない道です。苦しい時は仲間と助け合い、乗り越えてください。先生たちは、皆さんのこと、「なんぼでも」応援しています。

ところで、今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。この年は「火」の性質が重なり、非常にパワフルで活気に満ちた年になると言われています。実は、私も「丙午」の生まれです。皆さんに負けないくらい、パワフルに、情熱を持って突き進む年にしたいと思っています。皆さんも、このエネルギーを追い風にして、チャンスをつかみ取ってください。

最後になりますが、「笑う門には福来る」と言います。三学期も、本校の3つの心「自主・敬愛・健康」を胸に、「み」自ら考え、「な」仲間を大切にし、「と」共に成長する湊中生として、学校や地域にたくさんの笑顔を広げていきましょう。年末の介護老人保健施設「しおん」でのボランティアありがとうございました。今年も皆さんの「湊中魂」を期待しています。皆さんにとって、すばらしい一年になることを願い、式辞といたします。

校長 平塚 真一郎

介護老人保健施設しおん ボランティア活動

開催趣旨：地域の方との顔が見える関係を構築し、地域の活性化を目指す。また、災害時避難場所の観点から、普段から馴染みのある場所として広く知っていただくため。

「みなとキッチン（地域食堂）」・・・11月30日（日）

「クリスマス会」・・・12月26日（金）

○生徒にとっては、ボランティア活動の機会をいただいていると考えています。身近な所に活動場所があり、ボランティアの体験、経験は大きな学びとなっていることと思います。



2月の予定

学年末考査までの完全下校時刻16:45、学年末考査後17:15

日曜	内 容	給食	部活	日曜	内 容	給食	部活
1 日				15 日			
2 月	私立入試(B)	○	○	16 月		○	○
3 火	徳を積む日 専門・中央委員会	○	×	17 火	徳を積む日 SPS認証式	○	×
4 水		○	○	18 水	2年薬物乱用防止教室	○	○
5 木	考査前部活中止	○	×	19 木		○	○
6 金	入学説明会	○	×	20 金	3年授業参観 3年公立校入試説明会	○	×
7 土			×	21 土			
8 日			×	22 日			
9 月	朝会	○	×	23 月	天皇誕生日		
10 火	徳を積む日	○	×	24 火	徳を積む日 職員会議	○	×
11 水	建国記念の日		×	25 水		○	○
12 木	学年末考査① 小中連携授業参観(湊小↓)	×	×	26 木	3年生を送る会	○	×
13 金	学年末考査②	○	○	27 金		○	○
14 土				28 土			

湊中あれこれ

平塚杯(ヒラツカップ) キンボール大会

12月22日(月)

生徒会執行部が以下のねらいで企画しました。



○学年の枠をこえて協力し合う活動を通して、全校生徒の交流を深める。
○全校行事を自分達の力で運営する経験を通して、生徒が主体的に生徒会活動に関わろうとする意識を育てる。

当日は、宮城県キンボール連盟の方にも指導していただきながら、楽しく、大いに盛り上りました。湊中学校、今後、ますます一致団結していくことを確信しました。



原子力災害対応訓練

1月20日(火)

訓練の想定は、「大きな地震が発生、津波注意報なし、原子力事故発生『警戒事態』になった。」というものです。警戒事態になったことから、「地震対応避難、原子力対応避難、そして保護者への引渡し訓練」へと移行していきました。

実際にこのような事態が起きた場合には、「原子力災害時ににおける石巻市広域避難計画」にのっとり避難することとなります。行政区により一時集合場所が異なります。各家庭におかれましても、「原子力災害時ににおける石巻市広域避難計画」で御確認いただきますようお願いいたします。



原子力対応避難として、1階のトレーニング室廊下へ移動しました

石巻地区書きぞめ展覧会 入賞者紹介

【毛筆の部】

特選…白川惺南(3年)
金賞…阿部苅花(2年)、齋藤榛戻(3年)
入選…高橋莉菜、中村千尋、阿部瑚(1年)
佐藤 綾、遠藤寛太(2年)
保科 鳩(3年)

【硬筆の部】

特選…白川惺南(3年)
金賞…中村千尋(1年)、遠藤寛太(2年)
入選…高橋莉菜(1年)、
佐藤希乃葉(2年)
三浦柊輝(3年)